

台風19号の接近に伴う注意喚起

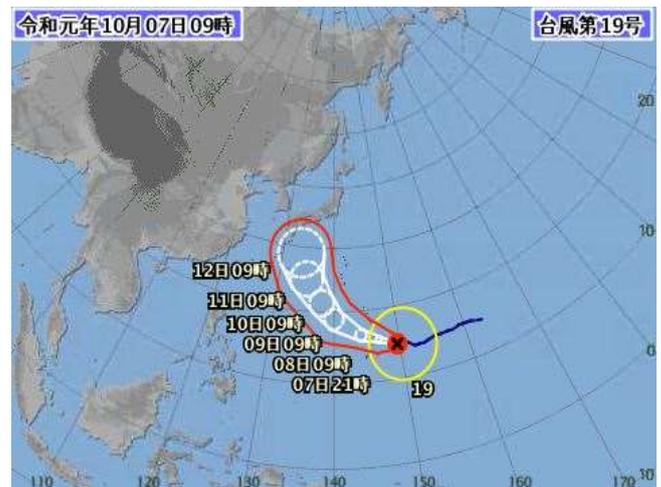
各種ニュース報道のとおり、10月6日(日)に台風19号が発生し、今後、猛烈な勢力となって日本列島に接近するおそれがあります。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

1. 台風19号の進路予想

今朝(10月7日)午前9時50分の気象庁予報部発表によると、台風19号は『強い』台風から『大型で強い』台風に変わり、マリアナ諸島をおよそ30km/hの速さで西へ進んでいます。

中心の気圧は965hpa、最大風速は40m、最大瞬間風速は55mで、中心から半径110km以内では風速25m/s以上の暴風となっています。また、中心の東側650km以内と西側440km以内では風速15m/s以上の強い風が吹いています。

本日21時には『非常に強い』台風へ発達する見込みです。



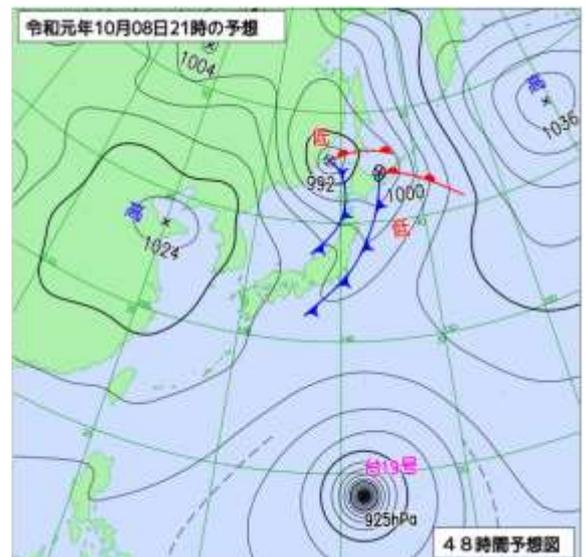
台風19号の進路予想(10/7午前9時50分気象庁発表)

2. 気象予想

台風19号は今後も発達を続け、10月9日(水)にはフィリピンの東で『猛烈な』勢力となり、今週後半、勢力を維持したまま日本の南に達する見込みです。

11日(金)以降の進路予想にはばらつきがあるものの、海外も含めた予想では、日本に接近することを示唆するものが増えていきます。

今回の台風は、9日(水)午前3時の中心気圧が915hpa、最大風速は55m/s、最大瞬間風速は75m/sとの予想がありますが、もし、この予想値まで達するのであれば、今年発生した台風のなかでは最も強い勢力になります。



10月8日(火)21時の予想天気図(気象庁発表)

10月12日(土)~14日(月)の連休の間に、列島の広い範囲で、大雨や暴風など、大荒れの天気に見舞われるおそれがあります。今後も最新の気象情報に注意頂き、早めの事前対策をお願いします。

強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上~44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上~54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

